



鶴川駅の バスに リムジ



いわせ和子 鶴川駅にリムジのバスを
FC町田ゼルビアJ1昇格に伴いアクセス向上のためリムジバスを鶴川駅に。

都市づくり部長 路線バス事業者は、深刻化している運転士不足の課題に加え、利用者数減少や、人件費や燃料費の高騰などにより、経費も増加傾向にあるなど、多くの課題を抱えているところだ。これらを受け、現行路線の維持に苦慮している状態にあり、

下水道部長 市内を25地区に分け、浸入水が多い地域を絞り込む調査を実施しました。順次発生箇所を特定する調査を進めており、特定できた箇所から修繕や更新工事を行っています。今後は、調査の手法を改善するなどして、効率化を図ります。



玉川学園の 踏切 を求め



渡辺敏太郎 玉川学園の踏切を求め

3年後に工事完了を目指す踏切拡幅の困難な課題を解決し、機能の拡充だけでなくシンボリックで市民に愛される踏切にしていけるべきだ。

道路部長 町田市としては、地域のシンボルとなるようなよい踏切をつくっていくという意気込みを持って小田急電鉄と調整していきます。

水道の耐震化が進んでいる。能登半島の震災を教訓



忠生スポーツ公 園／ごみ減量！



松岡みゆき (無所属)

忠生スポーツ公園の駐車場待ち対策に、周辺施設駐車場を解りやすく案内すべき。

都市整備担当部長 分りやすい案内図の掲示やホームページに周辺施設の案内を掲載するなど検討していきます。

環境資源部長 周辺施設を案内するほか整備を予定しています。プロムナード・イベント

トスペースの一部を臨時駐車場運用する想定をしています。



音楽に あふれた 駅前周辺



小野寺まなぶ (公明党)

地域に根差したコンサートを考えてはどうか。

赤塚副市長 市ゆかりのアーティストによる市庁舎でのコンサートなどの地産地SHOWという取組があります。取組結果を計画策定に反映することで、文化芸術を通じ、一人一人の心地よさをかなえる町、にぎわいあふれる魅力的な町につなげていきたい。

道路部長 里山環境整備の検討状況を見据え、上小山田町内会や田中谷戸街づくり協議会と対話を進め、市有地を活用した退避場所の整備について、都と調整していきます。



障がい児・ ほかに 支援



秋田しづか (諸派)

障がい児の保育所入所申請に加点を設けてはどうか。

子ども生活部長 発達に課題があるお子さんや障がいがあるお子さんの配慮は、今後、国の動向に注視するとともに、他市の事例等を参考にしながら研究していきます。

都市整備担当部長 パークセンターゾーンの雨水調整池は利便性の高い場所にあること、平らな空間が確保できることから選定したため、別の場所での検討はしません。

防の取組を求める。



忠生スポーツ公 園／ DX／ 難聴対策



藤田学 (自由民主党)

忠生スポーツ公園第二次整備基本計画の策定の経緯と基本計画に定めた公園の整備内容、整備スケジュールは、

市長 最終処分場の利用を推進するため計画を策定いたしました。スポーツ施設のほかにプロムナード・イベントスペースを整備することにし、32年度に開園いたします。

難聴 (ヒアリングフレイル)と介護予防、認知症予

より、公衆トイレ設置を望む声があるが市の考えは。



境川の 調節池 支援



石川好忠 (自由民主党)

金森及び木曽東調節池の工事の進捗状況と上部利用について。

市長 工事が同時に進められており、どちらも26年3月までに稼働予定でござい

都市整備担当部長 金森調節池上部について、27年度から開園を予定しています。



更なる 周知と 利便性を 求めて



中川幸太郎 (諸派)

インクルーシブ遊具を設置している公園の状況は。

都市整備担当部長 市では、南成瀬の天神原公園と忠生スポーツ公園に設置しています。24年度に小山田蓮田緑地に設置する予定です。

町田市内の公園でのボール遊びについて。

都市整備担当部長 基本的なルールは、他の利用者に迷惑をかけないことが原則です。



バリア フリー 本構 想につ



佐藤伸一郎 (自由民主党)

策定及び改定の経緯は、赤塚副市長 通称バリアフ

赤塚副市長 相原駅周辺地区バリアフリー基本構想を改定しました。その後、

都市づくり部長 24年度は、成瀬駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定を予定しています。24年度以降も、必要に応じた改定を行い、バリアフリー化を推進していきます。

23年度の取組状況は。



小中学校 はプール を



細野龍子 (日本共産党)

小中学校プールの削減する計画は中止すべき。

学校教育部長 プールの教育環境向上として、屋内化や市有温水プール等の活用により、計画的な授業の実施と天候不順や熱中症リスクの心配のない環境を提供します。

子ども生活部長 引き続き、ニーズ、推移等を見極めながら検討をしていきます。



障がい者 避難所 を



小野りゅうじ (まだ市民クラブ)

障がい者の移動・外出支援に関する個々の制度について、それぞれの制度のデメリットを補完し合えるよう、総合的に検討してはどうか。

地域福祉部長 今後についても、障がいのある方の声、あるいは他市の状況等を注視しながら、限られた予算の中でよりよい制度となるように研究を続けていきたい。

避難施設関係者連絡会

再生可能エネルギー100%の電力を66の施設に順次導入しています。この電力を導入することで、温室効果ガスの排出量は約6750トンC



スマート シティ の推進を



村まつ俊孝 (公明党)

データ利活用の推進は、基本構想の改定を予定して

環境資源部長 3月から市の公共施設では初めてとなる

さらに一歩踏み込んだまちづくりGXの取組を様々な主体と連携しながら推進していきます。

さらに一歩踏み込んだまちづくりGXの取組を様々な主体と連携しながら推進していきます。